

目標達成計画

作成日: 平成 24年 4月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議での意見・要望を聞いてグループホームの運営に活かしていくようにしているが、回を重ねる毎に出席メンバーが固定化されてしまいがちとなり、それに伴い意見・要望も偏りがちになっていく傾向にある。	運営推進会議の活性化を図る為に幅広い人材の参画により、固定化・マンネリ化・沈滞化からの脱却を図り、本来あるべき姿に戻す。	①家族会全員の参加を(従来は、会長・副会長のみ) 3月に実験済→3家族参加 ②新入社員の参加を 3月に実験済→3名出席 ③官公庁職員の参加を(従来は、市役所のみ参加)募り活性化を図る。	6ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアについては代表者をはじめ職員が理解しているが、一部職員・新入社員については概念としての理解に止まり、具体的な動きにおいて戸惑う場面がたまに見受けられる。	職員全員が身体拘束をしないケアを正しく理解し、実行することで利用者が快適に過ごせるグループホームを目指す。	毎月のM/Tの中で、身体拘束における禁止の対象となる具体的な行為(一定の拘束時間、危険な行為、怪我が予測される行為等)について一項目ずつ全員で勉強をしていく。	6ヶ月
3	26	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について本人、家族、必要な関係者を交えて、それぞれの意見・アイデアを反映させているが、ややもするとケアマネ中心になってしまい接する機会が一番多い、職員の意見がなおざりになっている。	本人・家族・主治医等の意見を聞き、職員全員でカンファレンス・モニタリング等実施し、本人に合った計画を作成する。	利用者一人ひとりの介護計画を作成していくなかで、職員が介護目標・介護計画を理解し把握していることで変化や気づきの記録が工夫され、3カ月に1回程度のモニタリングを全職員で取り組むことで意識づけ・レベルアップを図っていく。	12ヶ月
4	35	地域や消防署の協力を得て災害訓練・避難訓練を実施しており、災害に対する意識は高いが、火災・水害中心の訓練になりすぎている。	火災・水害だけでなく地震・台風等あらゆる災害に対処できる訓練、及び食料備蓄・医薬品の確保を含めた総合災害対策を万全に行う。	地域と職員が一体となり、火災・水害だけでなく地震・台風等あらゆる災害を想定しての防災訓練を繰り返し実施することで実践力を養う。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。